

# 東京病院ニュース

第19号 2007年7月1日発行



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院  
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1  
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168  
ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134  
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>



## 「当たってしまいました。」

第3回ファイルメーカー選手権コンテストで私が作成した database ソフト「呼吸器科 DESS (Data Entry System for Summary)」が最優秀賞を獲得。副賞でかなり高価な MAC book を頂きました。

どうして？

当院呼吸器内科では退院カルテからの臨床情報蓄積は何十年も前からパンチカードで行っていました。その後それは共通一次試験などでも使われたマークシートになり情報量はかなり増大、2万6000例を集積したのですが、もはや今日的ではありません。もちろん電子カルテが導入されればそれでよいのですが、当院財政ではとてもすぐ導入できる状況にはありません。それで自分で作ることにしました。

ファイルメーカーという database ソフトはプロでないと、とてもやられてられない C 言語とか SQL 言語などを知らなくても、かなり高度な操作系を組み立てられるスクリプト言語中心のソフトで、中規模以下のデータベースに適したソフトです。スクリプト言語というのは例えば「レコードをソートせよ」等という命令から成り立っていて、ソートの実際の program 等は知らなくても、合理的にこれらの命令を並べれば使えるわけです。中規模と言っても現実にはこれで何百台のコンピュータをネットワークにし、何十万件のレコードを運用している例もあるそうです。しかも Windows でも Mac でもどちらでも運用可能です。ということで 2005 年の 10 月から作り始め、盛んに医局で「試してみよう意見をください」というのですが誰も忙しくて試してなぞくれません。2006 年 6 月 1 日からとうとう全くテスト運用なしにいきなり本番稼働ということになってしまいました。

予想どおりトラブル続き、この頃のメモを見ると、2、3日に1回作り直して全病棟に配布しています。

丁度この頃 2006 年 10 月からファイルメーカー選手権というコンテストが始まりインターネットや雑誌で見ていると医療系のソフトもかなりあり、semipro 級も応募しているようなので

出して見ました。とにかく独学の試行錯誤で作ったので専門家の目で見たらどうなのか評価してもらおうと思ったのです。医療系ソフト 3 つを含む 13 の応募の中で最優秀賞を頂き「毎日使い込みながら徹底的に磨き上げた力作」と評価され、Mac Fan 4 月号で丸 1 ページ分をソフトの紹介に費やして頂きました。何しろ現場で作るのですから徹底的に凝りました。

当院はまだ病棟には自由に使える院内 LAN 配線がありません。従って現在はこのソフトを run-time 版で呼吸器内科病棟に配布し、1ヶ月に1回私が病棟を回り data を収集統合していますが(丁度1年間で約2200件のdata集積があります)、近い将来病棟の LAN 配線が出来るのでその際にはサーバー・クライアント形態で運用する予定です。

このソフトを試してみたい方は <http://www.fmcontest.jp> にアクセスすれば sample 版をダウンロードできます。

臨床研究部長 倉島篤行





# 3西病棟紹介



3西病棟は、脳血管障害リハビリテーションの専門病棟です。看護師は、訓練室で行っている訓練を日常生活の場である病棟においても取り入れ、効果的なりハビリテーションの力を発揮できるよう心がけています。



患者様の作品  
です♪



立ち上がり訓練中！  
結構しんどいよ。



歩く練習中！  
1. 2. 1. 2...



座って入れる  
お風呂♪

病棟では、臥床時間を極力少なくするようにしています。耐久力を上げるため、ボレロのリズムに合わせた立ち上がり訓練を行ったり、食事は、食堂で召し上がったりしています。また、更衣や歩行の練習も患者様の状態に応じて行います。入浴は最初、3西病棟にしかない座って入れるお風呂から始まり、徐々に家庭用のお風呂に入る練習を行います。病棟内での練習には作業療法士・理学療法士・言語聴覚士が看護師と共に積極的に関わっています。また、栄養士による栄養指導や歯科医・歯科衛生士による口腔内の保清を行っています。在宅復帰に向けては、在宅復帰支援メンバーが入院時より計画的に取り組んでいます。

この様に、医師・看護師だけでなく様々な職種のスタッフが一人ひとりの患者様の自立を目標にチームで取り組んでいます。



## TQMに関する講演会について

6月22日（金）に国立病院機構仙台医療センター名誉院長 櫻井芳明先生により医療の質の改善計画「QCサークル、TQMのすすめ」という演題の講演会がありました。

QCとは、クオリティー・コントロールの略で品質管理・精度管理を意味します。各職場・現場において、自主的に集まった小集団によって業務の中で発生している様々な問題の改善、効率化対策を行う活動をいいます。

TQMとは、トータル・クオリティー・マネジメントの略で総合的品質管理・総合的医療内容管理を意味します。一定水準の医療が提供できるような体制整備をいいます。

簡単に言うと、病院という組織で各職員が働いていますが、ムダ・ムラ・ムリが多数存在する中で、仕事のやり方などを標準化し改善を図る。もっとこうしたら改善ができるのにと考えた小集団等で問題を問題としてとらえ、これを解決に導くプラン等の作成・実施・分析評価・さらなる向上により継続的改善を図る。

そうすることで、各職員の創造性を発揮し、自己啓発・相互啓発を図ることができ、価値観の共有、情報の共有が医療の質の管理改善へと繋がり、結果として患者中心の医療へと発展してくるのではないかと考えます。

いろいろと書きましたが、「できることからはじめよう!!」やってみて「なぜできないか」を論ずるより「どうしたらできるか」を常に心掛ければ、業務改善、患者サービス、医療の質の管理改善をはかれるのではないかと思います。

職員係長 白石邦夫

## 『看護の日』

5月12日はナイチンゲールの誕生日であり、毎年各地で様々な催しが開催されています。当院でも毎年行っており、地域の皆様との交流や患者様に少しでも安らぎを感じてほしいと考え今年5月10日に行いました。

午前中は健康チェック（身長・体重・血圧・体脂肪測定・酸素飽和度・骨密度の測定）、福祉介護具や栄養食品の展示、薬剤相談を行いました。健康チェックでは今年から骨密度の測定もできるようになり、毎年多くの方々に立ち寄っていただいています。福祉介護具や栄養食品の展示では、業者と栄養士の方々から実際の品物を手に取りながら説明を受けることで驚きや有難さを感じる事ができました。薬剤相談では薬剤師と直接話すことで普段疑問に感じていたことが解決できたと思います。午後には外来待ち合いホールに於いてボランティアの石井さん達によるピアノとコーラスの「ミニコンサート」を催しました。生演奏とコーラスの方々の素敵な歌声がホールを包み、音楽の素晴らしさを満喫していただけたと思います。

今回、看護の日の行事を通して、多くの方々から率直なご意見、素敵な笑顔を頂き貴重な経験をさせていただきました。この経験を日々の看護に活かし患者様に満足していただけるよう取り組んでいきたいと思っています。ご参加・ご協力いただいた関係者の方々に感謝いたします。

「看護の日」実行委員長 新井 順子

## 服薬指導・健康チェック



石井さん他ボランティアのコーラスの方々



## 肝臓病講演会

去る5月19日に肝臓病週間に因んで「肝臓病の最新の話」と題して一般市民を対象に講演会を開催しました。これは毎年5月の第4週目を「肝臓病週間」と称して日本肝臓学会が国民の皆様へ肝臓病についての知識を広めていただくための啓蒙活動を行っているもので、その一環として全国各地の肝臓病専門医療機関で同時期に講演会が開かれました。当院では今回で10回目となります。当日は当院や他院に通院中の方やその家族、一般市民の方々など65名の参加者があり盛況でした。講演の後、質疑応答と当科の医師による個別相談を行いました。また慢性肝炎の患者会（肝疾患談話会）を立ち上げるため不破看護師から説明があり6月に第一回目の会合をもちました。今後も毎年この活動を続けていくつもりです。

外来診療部長 矢倉道泰



## 在宅酸素の会

第25回「在宅酸素の会」は、5月24日（木曜日）14時～16時に開催されました。五月晴れの天候に恵まれ、在宅酸素療法を受けている患者さまとご家族を含め、50名余りの参加がありました。

今回は、呼吸器科医師による「結核治療の歩みと最近の話題」、栄養士による「慢性呼吸不全の栄養管理」、理学療法士による「呼吸リハビリテーションと実技」の内容でした。

参加された患者さまからは、日常生活の過ごし方や、食事の取り方など多くの具体的な質問があり、この会への期待度を、改めて感じました。

講演と実技などで2時間の時間を有意義に過ごされ、毎回参加の患者さま同士は近況をお話され、同窓会のような和やかな雰囲気の中閉会となりました。

この会は年2回、5月と10月の第四木曜日に、定例開催しております。参加申込みは、外来診察受付や院内の掲示にてお知らせ致します。在宅酸素療法に新規導入された患者さまには、往復ハガキでご案内をさせていただいております。

梅雨の不安定な時期や暑い夏を無事に過ごされ、秋にお元気な患者さま皆様にお会いできることを楽しみにしております。

外来師長 加藤久美子



## 永年勤続表彰を受けて

4月25日に30年永年勤続表彰を受けました。

昭和52年4月に国立大蔵病院（現在は国立小児病院と統合した成育医療センター）に就職。ここをスタートに東京病院は7施設目になります。30年という勤務の前半は助産師として、妊娠・出産・育児を支援する仕事をしてきました。出産率が落ち込み高齢化社会が危惧されている現在ですが、30年前も減少傾向をたどっていたときです。現在多くの女性が一生に経験する出産は一度か二度です。この数少ない経験が、満足できる体験になるようにとの教をベースに勤務してきたように思います。

東京病院に転勤してからは結核病棟に勤務しています。結核は過去の病ではなく、今だ根絶が出来ない、しぶとい病気である事を東京病院にきて改めて感じています。結核患者様は感染症であるが故に不自由な入院生活を余儀なくされています。それでも必ず「治る」事を希望にして「療養をしている患者様」へ少しでも役立ちたいと考えています。

この30年大過無く勤務して来られたのは、多くの同僚に支えられたのももちろんですが、患者様から教をたくさん頂き、多くの事を学ばせていただいたからだと思います。今後も皆様のご指導をよろしく願います次第です。

7西病棟 看護師長 波田野なみ子



## 清瀬市在住の65歳以上の方へ

清瀬市市民健康診査実施中

生活習慣病といわれる高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満は、動脈硬化を助長し、心筋梗塞や脳卒中の危険因子とされています。また、異常の程度は軽くても複数の危険因子が重複しているケースでは、動脈硬化が起きやすいといわれています。生活習慣病自体は自覚症状が乏しいため、積極的に健康診断を受けて早期に発見し対策を講じることが大切です。一度心筋梗塞や脳卒中を発症してしまうと生命の危険はもちろんですが、助かった場合でも心不全や運動麻痺といった後遺症で残りの人生を台無しにしてしまう可能性があります。清瀬市では生活習慣病の早期発見、寝たきりにならないための介護予防を目的とした市民健康診査を実施しています。希望者は、胸部X線写真、前立腺がん検診（別料金）、肝炎ウイルス検診（該当者のみ）も同時に受けることができます。診断は、呼吸器科、循環器科、消化器科、眼科の専門の医師によって行われ、異常所見のある方へは適切なアドバイスをしております。是非、東京病院で市民健康診査をお受けください。

<申し込み方法>

予約制になっています。診療時間内（平日 8:30～17:00）にお申し込みください。

窓口で⇒予約窓口：受付⑥番

電話で⇒042-491-2934（医療連携室）

循環器科医長 瀬川和彦

## 編集後記

カルガモ大家族

今年も待ちに待ったカルガモの季節となりました。ここ数年、外來の中庭でカルガモ親子が見れることで、密かに東京病院マイブームとなっています。今年は第1期生、第2期生と次々と誕生して現在合計17匹が中庭を元気に走り回っています。手のひらに乗るくらいよちよち歩きだった頃は、みんなで仲良くプールに入っていましたが、最近では、すっかり大きくなってしまい窮屈そうです。でも、かわいさ・癒し系は抜群で東京病院の宝です。羽根もバタバタし始め、飛ぶ準備を見せる子も現れました。ここを巣立ってしまうまでもう少しの間、見る人達を楽しませて下さい。そして、また来年もここへ帰ってきて下さい。（カルガモの写真を病院各所に展示していますので、どうかご覧になって下さい）

職員係長 白石邦夫



専門外来案内

専門外来名	診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください	
肝臓	月～金	体がだるい、黄疸や食欲の低下、健診で肝障害のある方、平成4年以前に輸血を受けた方。	
呼吸器関係外来	喘息	火(午後)	「喘鳴」「発作性の咳」が主な症状です。特に夜間から明け方の咳き込みは要注意です。
	喘息・アレルギー(予約制)	金(午前)	気管支喘息(難治性)、花粉症などのアレルギー疾患で悩んでいる方。「慢性の咳」の中には、アレルギーに関連しているものもあります。
	禁煙(予約制)	水(午前)	タバコがどうしてもやめられない方。
	肺がんセカンドオピニオン(予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。[30分:5,250円]
	間質性肺炎	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。治療が難しく、膠原病に合併する場合もあります。
	非定型抗酸菌症	月(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
	気胸	火	突然の胸痛、息苦しさを感ずります。
	いびきCOPD(睡眠時無呼吸症候群の検査)	月～金	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。
アスベスト(予約制)	水(午前)	アスベスト(石綿)を扱うお仕事をされた方。アスベスト吸入による肺の病気について御心配な方(予約制です)	
手掌多汗症	金	今増加している疾病です。手のひら、腋、顔面の発汗が多い症状です。(汗で手が滑る、握手もできないこともあります。)	
ものわれ外来	水(午後)	最近ものわれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。(あらかじめ神経内科を受診して下さい。)	
高次脳機能外来	木(午後)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など(要神経内科外来受診。)	
糖尿病	木(午後)	のどがかわきやすい、体重が減ってきた。(無症状が多いので、健康診断で異常を指摘される場合が多い。)	
緩和ケア	木・金(午前)	末期の悪性腫瘍やエイズによる痛みやいろいろな症状でつらい思いをされている方。	

受付時間 8:30~11:00 診療時間 8:30~17:15  
 午後の専門外来は、12:30より受付  
 休診日 土・日・祝祭日および年末年始(12月29日から1月3日)

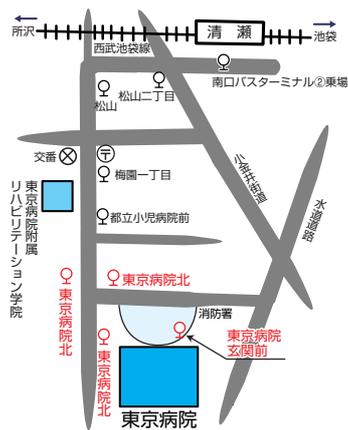
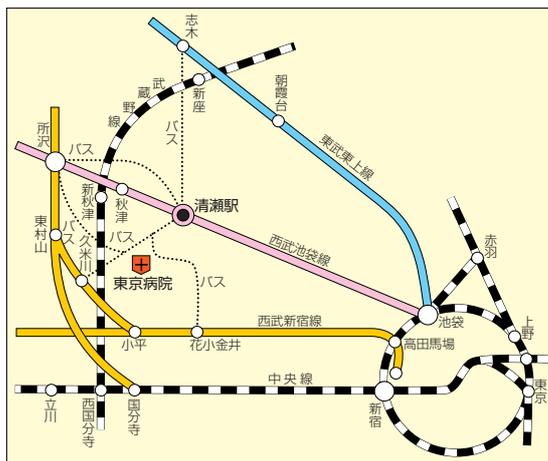
代表電話番号 042-491-2111  
 内線番号がおわかりの方は042-491-4134  
 (ダイレクト・イン・ダイヤル)をご利用下さい

医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合(医療機関)

外来診療の予約 : 診療依頼書をFAX送信して下さい FAX 042-491-2125(8:30~15:30)  
 CT・MRI検査の申し込み : 医療連携室へお電話下さい TEL 042-491-2934(8:30~17:15)

診療内容 病床数560床

- 呼吸器科
- 消化器科
- 循環器科
- リハビリテーション科
- 呼吸器外科
- 消化器外科
- 神経内科
- 内科
- 外科
- 放射線科
- 麻酔科
- 整形外科
- 緩和ケア科
- ICU(集中治療室)



交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅よりタクシー10分、または西武池袋線に乗り換え。
- 西武新宿線 久米川駅南口バス3番乗り場より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車でお越しの際は正面よりお入り下さい。(駐車場265台)  
 30分以内 無料  
 31分~2時間 100円  
 以後1時間毎 100円  
 (20時15分~7時 1時間毎300円)